



## 平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月12日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名 各一部  
 コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実 (TEL)052(611)6350  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期第3四半期の業績(平成23年3月1日~平成23年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	5,761	54.5	397	598.5	391	770.9	225	-
23年2月期第3四半期	3,728	32.7	56	90.8	44	92.3	19	94.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	3,763.76	-
23年2月期第3四半期	323.52	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年2月期第3四半期	7,025	4,890	69.6
23年2月期	6,811	4,678	68.6

(参考) 自己資本 24月期第2四半期 4,890百万円 23年2月期 4,678百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	-	0.00	-	400.00	400.00
24年2月期	-	0.00	-		
24年2月期(予想)				400.00	400.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

### 3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,984	33.5	474	271.2	461	215.0	272	507.2	4,593.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

#### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

以外の会計方針の変更 : 有・無

会計上の見積りの変更 : 有・無

修正再表示 : 有・無

#### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期3Q	59,863株	23年3月期	59,863株
期末自己株式数	24年2月期3Q	0株	23年3月期	0株
期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期3Q	59,863株	23年3月期2Q	59,863株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」を参照ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(第3四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所の放射能事故の影響を強く受ける一方、震災からの復旧とともに企業の生産活動や個人消費は持ち直しの動きを見せてまいりました。しかしながら、ギリシャの債務問題に端を発したユーロ圏の混乱、不透明な米国経済並びにタイの大洪水による影響等で、さらに急速な円高が進み、また、株価が下落するなど、企業収益及び個人消費に与える影響の深刻さが懸念されているところであり、今後の景気動向は全く予断を許さない展開となりました。

当社の業績に大きな影響を及ぼす不動産市況においても、首都圏を中心に緩やかな回復傾向をたどってきておりましたが、今後の動向については予断を許さない状況となっております。また、今般の東日本大震災による影響につきましても依然として未知数であります。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を中心にリサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,761百万円(前年同四半期比54.5%増)、経常利益は391百万円(同770.9%増)、四半期純利益は225百万円(同1,063.3%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### [ 土壌汚染調査・処理事業 ]

首都圏を中心にした不動産市況の緩やかな回復を下支えとし、引き続き営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化を図り、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高5,590百万円、営業利益561百万円となりました。

#### [ その他 ]

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高171百万円、営業利益78百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,233百万円となり、前事業年度末に比べ359百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加519百万円、受取手形の増加120百万円、売掛金の減少143百万円及び有価証券の減少100百万円であります。

##### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は4,791百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円の減少となりました。主な要因は関係会社長期貸付金の減少112百万円、減価償却等によるリース資産を除く有形固定資産の減少107百万円及びリース資産の増加49百万円であります。

##### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,768百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等の増加177百万円、買掛金の増加56百万円、未払費用の増加55百万円、前受金の増加50百万円及び短期借入金の減少275百万円であります。

##### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は366百万円となり、前事業年度末に比べ79百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金の減少127百万円及びリース債務の増加39百万円であります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は4,890百万円となり、前事業年度末に比べ212百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益225百万円及び剰余金の配当23百万円であります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第3四半期会計期間末残高は847百万円（前事業年度末比519百万円増）となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主にたな卸資産の増加額51百万円、法人税等の支払額41百万円があったものの、税引前四半期純利益390百万円、減価償却費190百万円、仕入債務の増加額91百万円等により、総額で800百万円の収入（前年同四半期は37百万円の支出）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出91百万円があったものの、貸付金の回収による収入142百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円等により、総額で147百万円の収入（前年同四半期は213百万円の支出）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額275百万円、長期借入金の返済による支出127百万円及び配当金の支払額23百万円等により総額で428百万円の支出（前年同四半期比は44百万円の収入）となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、平成23年9月7日に公表しました業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	847,538	328,370
受取手形及び売掛金	1,208,114	1,231,514
たな卸資産	107,383	55,568
その他	76,624	265,155
貸倒引当金	6,187	6,187
流動資産合計	2,233,472	1,874,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	949,010	1,021,459
土地	2,743,504	2,743,504
その他(純額)	665,241	650,302
有形固定資産合計	4,357,755	4,415,266
無形固定資産	10,881	12,676
投資その他の資産	423,019	508,773
固定資産合計	4,791,656	4,936,715
資産合計	7,025,128	6,811,137
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	512,852	430,016
短期借入金	845,148	1,120,148
未払法人税等	177,006	-
引当金	4,334	26,671
その他	228,879	110,097
流動負債合計	1,768,219	1,686,933
固定負債		
長期借入金	225,501	353,112
引当金	99,787	90,622
その他	41,297	2,268
固定負債合計	366,586	446,002
負債合計	2,134,805	2,132,936

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	2,196,392	1,995,028
株主資本合計	4,885,747	4,684,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,575	6,181
評価・換算差額等合計	4,575	6,181
純資産合計	4,890,323	4,678,200
負債純資産合計	7,025,128	6,811,137

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	3,728,822	5,761,568
売上原価	3,214,273	4,877,103
売上総利益	514,549	884,464
販売費及び一般管理費	457,710	487,406
営業利益	56,838	397,057
営業外収益		
受取利息	795	1,080
受取配当金	850	1,490
受取地代家賃	6,836	6,912
その他	3,139	4,265
営業外収益合計	11,621	13,747
営業外費用		
支払利息	7,501	6,487
固定資産賃貸費用	15,989	12,461
その他	9	258
営業外費用合計	23,500	19,208
経常利益	44,959	391,597
特別損失		
固定資産除却損	4,622	941
特別損失合計	4,622	941
税引前四半期純利益	40,337	390,655
法人税、住民税及び事業税	33,807	206,920
法人税等調整額	12,837	41,574
法人税等合計	20,970	165,345
四半期純利益	19,367	225,310



(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,417,102	1,845,578
売上原価	1,231,389	1,577,065
売上総利益	185,712	268,512
販売費及び一般管理費	155,931	160,142
営業利益	29,780	108,370
営業外収益		
受取利息	371	324
受取地代家賃	2,285	2,676
その他	595	41
営業外収益合計	3,252	3,042
営業外費用		
支払利息	2,350	1,976
固定資産賃貸費用	6,379	4,004
営業外費用合計	8,730	5,980
経常利益	24,302	105,432
特別損失		
固定資産除却損	4,290	-
特別損失合計	4,290	-
税引前四半期純利益	20,012	105,432
法人税、住民税及び事業税	14,599	61,857
法人税等調整額	5,869	16,927
法人税等合計	8,729	44,929
四半期純利益	11,282	60,502

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	40,337	390,655
減価償却費	229,919	190,739
賞与引当金の増減額(は減少)	22,059	22,337
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,823	5,006
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,858	4,158
受取利息及び受取配当金	1,645	2,570
支払利息	7,501	6,487
有形固定資産除却損	4,622	941
売上債権の増減額(は増加)	267,166	74,280
たな卸資産の増減額(は増加)	23,104	51,814
仕入債務の増減額(は減少)	153,881	91,389
その他	2,126	80,706
小計	175,050	767,644
利息及び配当金の受取額	1,645	2,571
利息の支払額	7,730	6,325
法人税等の支払額	206,181	41,701
法人税等の還付額	-	78,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,216	800,217
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	49,831	91,121
有形固定資産の売却による収入	83,622	2,405
投資有価証券の取得による支出	88,444	-
貸付けによる支出	151,400	-
貸付金の回収による収入	4,161	142,165
その他	11,324	6,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,216	147,188
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	325,000	275,000
長期借入金の返済による支出	209,401	127,611
配当金の支払額	71,271	23,895
その他	-	1,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,327	428,238
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	206,106	519,167
現金及び現金同等物の期首残高	582,356	328,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	376,250	847,538

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業全体の大部分を占める「土壌汚染調査・処理事業」を報告セグメントとしております。「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	土壌汚染調査・ 処理事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,590,073	171,494	5,761,568	-	5,761,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	102,595	102,595	102,595	-
計	5,590,073	274,089	5,864,163	102,595	5,761,568
セグメント利益	561,500	78,413	639,913	242,855	397,057

当第3四半期会計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	土壌汚染調査・ 処理事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,785,398	60,179	1,845,578	-	1,845,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	38,175	38,175	38,175	-
計	1,785,398	98,355	1,883,753	38,175	1,845,578
セグメント利益	160,822	29,862	190,684	82,314	108,370

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル、環境分析、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	5,653,581	-
その他	121,940	-
合計	5,775,522	-

- (注) 1.金額は、販売価格によっております。  
2.上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	6,275,584	-	1,726,493	-
その他	184,102	-	14,348	-
合計	6,459,687	-	1,740,841	-

- (注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	5,590,073	-
その他	171,494	-
合計	5,761,568	-

- (注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
2.主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社ダイセキ	327,457	8.7	936,561	16.2

- 3.上記の金額には、消費税は含まれておりません。